

2009年1月29日

2009年3月期 第3四半期 決算カンファレンスコール資料

京セラ株式会社

2009年3月期 第3四半期（9ヵ月通算）連結業績概要

（単位：億円）

	2008年3月期 9ヵ月通算 ('07/4~12)		2009年3月期 9ヵ月通算 ('08/4~12)		増減率 (%)
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	
売上高	9,662	100.0	9,026	100.0	-6.6
営業利益	1,101	11.4	673	7.5	-38.9
税引前当期純利益	1,320	13.7	824	9.1	-37.6
当期純利益	835	8.6	568	6.3	-32.0
希薄化後1株当たり 当期純利益（円）	440.56	—	300.30	—	-31.8
平均為替レート	対ドル	117円	103円	—	—
	対ユーロ	163円	151円	—	—
設備投資額	537	5.6	552	6.1	2.9
減価償却費	558	5.8	619	6.9	10.9
研究開発費	466	4.8	514	5.7	10.3

（注）各項目の金額は億円単位で四捨五入しています。また、各比率については、百万円単位で比較した際の比率を記載しています。

2009年3月期 第3四半期（9ヵ月通算） 事業セグメント別連結売上高

（単位：億円）

■事業セグメント	2008年3月期 9ヵ月通算 （'07/4～12）		2009年3月期 9ヵ月通算 （'08/4～12）		増減率 （%）
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
■ ファインセラミック部品関連事業	618	6.4	521	5.8	-15.7
■ 半導体部品関連事業	1,139	11.8	1,135	12.6	-0.4
■ ファインセラミック応用品関連事業	1,087	11.3	1,224	13.5	12.6
■ 電子デバイス関連事業	2,256	23.3	1,905	21.1	-15.5
部品事業計	5,100	52.8	4,785	53.0	-6.2
■ 通信機器関連事業	1,686	17.4	1,698	18.8	0.7
■ 情報機器関連事業	2,066	21.4	1,754	19.4	-15.1
機器事業計	3,752	38.8	3,452	38.2	-8.0
■ その他の事業	999	10.3	970	10.8	-2.9
調整及び消去	-188	-1.9	-181	-2.0	—
売上高	9,662	100.0	9,026	100.0	-6.6

2009年3月期 第3四半期（9ヵ月通算） 事業セグメント別連結事業利益

（単位：億円）

■事業セグメント	2008年3月期 9ヵ月通算 ('07/4~12)		2009年3月期 9ヵ月通算 ('08/4~12)		増減率 (%)
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	
■ ファインセラミック部品関連事業	90	14.5	25	4.8	-72.3
■ 半導体部品関連事業	147	12.9	119	10.5	-19.4
■ ファインセラミック応用品関連事業	228	21.0	280	22.9	22.7
■ 電子デバイス関連事業	305	13.5	51	2.7	-83.1
部品事業計	770	15.1	475	9.9	-38.3
■ 通信機器関連事業	31	1.9	-107	—	—
■ 情報機器関連事業	284	13.7	146	8.3	-48.6
機器事業計	315	8.4	39	1.1	-87.5
■ その他の事業	67	6.7	152	15.7	126.4
事業利益計	1,152	11.9	667	7.4	-42.1
本社部門損益	109	—	108	—	-1.0
持分法投資損益	58	—	49	—	-16.0
調整及び消去	-0	—	0	—	—
税引前当期純利益	1,320	13.7	824	9.1	-37.6

2009年3月期 第3四半期（9ヵ月通算）決算要約

1. 下期からの急激な需要減

- ① 景気後退によるデジタルコンシューマ機器メーカーの生産縮小・在庫調整
- ② 高機能デジタルコンシューマ機器の需要の伸び悩み
- ③ 企業の情報化投資減退による情報機器関連事業の海外売上減

2. 通信機器関連事業の低迷

- ・ 三洋電機(株)の携帯電話端末事業の承継により売上は横ばい
- ・ 国内外での携帯電話端末の販売低迷により収益性低下

3. 米ドル・ユーロに対する円高の進行

為替レート変動による影響額 (9ヵ月通算: 前年同期比)	売上高	税引前利益
	約 -680億円	約 -165億円

4. ファインセラミック応用品関連事業の拡大

- ・ 太陽電池の生産量は前年同期比40%増

2009年3月期 連結業績予想

(単位:億円)

	2008年3月期 実績		2009年3月期				増減率 (%)	
	金額	売上高比 (%)	前回予想 (2008年10月)		今回予想 (2009年1月)			
			金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	前期比	前回予想比
売上高	12,904	100.0	12,400	100.0	11,200	100.0	-13.2	-9.7
営業利益	1,524	11.8	740	6.0	250	2.2	-83.6	-66.2
税引前当期純利益	1,748	13.5	940	7.6	400	3.6	-77.1	-57.4
当期純利益	1,072	8.3	560	4.5	200	1.8	-81.4	-64.3
希薄化後1株当たり 当期純利益 (円)	565.80	—	295.19	—	105.80	—	-81.3	-64.2
平均為替レート	対ドル	114円	101円	100円	—	—	—	—
	対ユーロ	162円	141円	143円	—	—	—	—
設備投資額	851	6.6	780	6.3	630	5.6	-26.0	-19.2
減価償却費	756	5.9	870	7.0	845	7.5	11.8	-2.9
研究開発費	616	4.8	740	6.0	690	6.2	12.0	-6.8

2009年3月期 事業セグメント別連結売上高予想

(単位:億円)

■事業セグメント	2008年3月期 実績		2009年3月期				増減率 (%)	
			前回予想 (2008年10月)		今回予想 (2009年1月)		前期比	前回 予想比
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
■ ファインセラミック部品関連事業	813	6.3	700	5.7	620	5.5	-23.7	-11.4
■ 半導体部品関連事業	1,545	12.0	1,440	11.6	1,330	11.9	-13.9	-7.6
■ ファインセラミック応用品関連事業	1,499	11.6	1,740	14.0	1,500	13.4	0.0	-13.8
■ 電子デバイス関連事業	2,942	22.8	2,500	20.2	2,290	20.5	-22.2	-8.4
部品事業計	6,800	52.7	6,380	51.5	5,740	51.3	-15.6	-10.0
■ 通信機器関連事業	2,208	17.1	2,500	20.1	2,150	19.2	-2.6	-14.0
■ 情報機器関連事業	2,767	21.5	2,390	19.3	2,260	20.2	-18.3	-5.4
機器事業計	4,976	38.6	4,890	39.4	4,410	39.4	-11.4	-9.8
■ その他の事業	1,385	10.7	1,380	11.1	1,280	11.4	-7.6	-7.2
調整及び消去	-256	-2.0	-250	-2.0	-230	-2.1	—	—
売上高	12,904	100.0	12,400	100.0	11,200	100.0	-13.2	-9.7

2009年3月期 事業セグメント別連結事業利益予想

(単位:億円)

■事業セグメント	2008年3月期 実績		2009年3月期				増減率(%)	
	金額	売上高比 (%)	前回予想 (2008年10月)		今回予想 (2009年1月)		前期比	前回 予想比
			金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)		
■ ファインセラミック部品関連事業	112	13.7	38	5.4	-25	—	—	—
■ 半導体部品関連事業	200	13.0	160	11.1	50	3.8	-75.0	-68.8
■ ファインセラミック応用品関連事業	327	21.8	342	19.7	260	17.3	-20.4	-24.0
■ 電子デバイス関連事業	365	12.4	90	3.6	-50	—	—	—
部品事業計	1,004	14.8	630	9.9	235	4.1	-76.6	-62.7
■ 通信機器関連事業	68	3.1	-173	—	-200	—	—	—
■ 情報機器関連事業	395	14.3	190	7.9	150	6.6	-62.1	-21.1
機器事業計	463	9.3	17	0.3	-50	—	—	—
■ その他の事業	96	7.0	155	11.2	130	10.2	34.9	-16.1
事業利益計	1,563	12.1	802	6.5	315	2.8	-79.9	-60.7
本社部門損益等	185	—	138	—	85	—	-54.1	-38.4
税引前当期純利益	1,748	13.5	940	7.6	400	3.6	-77.1	-57.4

2009年3月期 通期業績予想の修正要因（前回予想比）

■ 下期の事業環境の悪化

- ・ 前回予想以上に世界景気は低迷
- ・ 第4四半期（'09/1～3）の市況は第3四半期より急激に悪化（デジタルコンシューマ機器、自動車、情報機器など）

■ 下期の一時費用・損失の計上：約-200億円 （前回予想 -40億円）

	第3四半期（'08/10～12）	第4四半期（'09/1～3）
各種資産価値の評価見直し （有価証券、棚卸資産、のれんなど）	約30億円	約145億円
事業体制の再編費用など	約5億円	約20億円
合 計	約35億円	約165億円

ご参考1：2009年3月期 為替変動に関する補足資料

1. 為替変動による影響額 (前期比)

	2008年3月期	2009年3月期	
		前回予想 (2008年10月)	今回予想 (2009年1月)
売上高	59億円	-1,058億円	約 -970億円
税引前当期純利益	75億円	-330億円	約 -240億円

2. 2009年3月期 平均為替レートの推移

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
対ドル	¥105	¥108	¥96	¥91
対ユーロ	¥163	¥162	¥127	¥119

ご参考2: 2009年3月期 通信機器関連事業内訳

(単位:億円)

【売上高】	9カ月通算	通期予想
移動体通信機器	約 1,500	約 1,900
通信システム機器	約 200	約 250
通信機器関連事業合計	1,698	2,150

(単位:億円)

【事業利益】	9カ月通算	通期予想
移動体通信機器	約 -100	-200
通信システム機器	約 -5	0
通信機器関連事業合計	-107	-200

将来予想に関する注意事項

この資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因並びにその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。(1)当社が関連する市場における経済状況(主に、日本、北米、欧州並びにアジア(特に中国))。(2)中国における経済・政治・法律面での条件の予測し得ない変化。(3)競争の激しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場において当社が、革新的な製品を開発・生産し、品質・納期を含めて、顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力の不確実性。(4)生産高や業績に影響を与える社外委託工程や自社内製造過程で生じる遅れや不具合の発生。(5)円高、政治・経済情勢、売掛金回収リスク、製品の価格競争力の低下、輸送経費の増大、海外事業への人材配置・管理の問題、知的財産権の保護の不十分性など、輸出に影響する可能性がある要素。(6)売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)の対円為替相場の変動。(7)エンジニアリング・技術部門での熟練労働者の確保の不確実性。(8)機密保持及び特許権の保護の確保が不十分である事態。(9)製品を製造・販売する為に必要となるライセンスの継続的確保の不確実性。(10)今後の取り組み及び現在進行中の研究開発が期待される成果を生み出さない事態。(11)買収した会社や取得した資産に関連して想定以上の統合費用がかかり、期待される収益又は事業機会が得られない事態。(12)テロ行為、疾病の発生など、当社の市場やサプライチェーンに悪影響を与える要素。(13)製造施設その他主要な事業関連施設が存在する地域における地震などの自然災害の発生。(14)国内外の環境規制強化に伴う当社の賠償責任や遵守義務の増大。(15)保有する有価証券及びその他の資産の時価の変動、減損処理の発生。(16)会計基準の変更。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示又は包含される将来の業績、事業活動、展開又は財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。